

新発売! NEW DT125 / NEW **BOBBY** LB50 III-H / NEW YB125



〈特集〉

バイクはいま、スポーツフィーリング…………… 3

●いまやバイクは、アウトドアスポーツとして  
位置づけられている…………… 6

●さらに高まる——  
ヤマハスポーツへの期待…………… 8

春から夏へ——  
販促活動まっさかり

〈広島〉ヤマハタウン店会議…………… 10

〈東京〉一大出張展示会…………… 12

〈盛岡〉ヤマハ交通安全ファミリーキャンペーン…………… 14

●カラー

NEW ポビィ LB50III-H…………… 15

NEW DT125 YB125…………… 16

話のパドック…………… 18

お店訪問・こんにちはヤマハです

●岩手県・盛岡市「サイクルショップ松園」さん…………… 20

パワーアップ・ヤマハ奥さま…………… 22

安全運転推進本部コーナー…………… 23

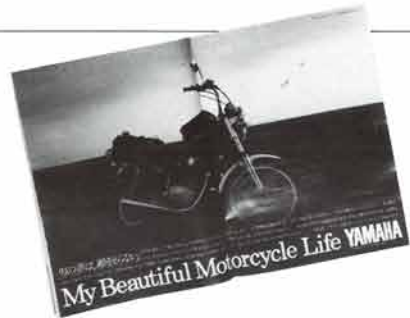
販売促進12章…………… 24

モータースポーツハイライト…………… 26

ヤマハ★トピックス…………… 28

サービスコーナー・まごころ点検…………… 30

ヤマハ部品・用品コーナー…………… 31



**男**の夢は、齢をとらない。昨年来2輪専門誌を通じて展開してきた「マイ・ビューティフル・モーターサイクルライフ」の提唱は、いま一般誌に舞台を移し、より幅広い層の人びとを対象に続けられて、大きな反響を呼んでいます。これもひとつに「モーターサイクルが、アウトドアスポーツのひとつとしてしっかりと位置づけられてきた。この表われ。そんな最新の傾向を今月は特集しました。題して「バイクはいま、スポーツフィーリング」(3ページ~9ページ)

**乗**りやすさ一番「ヤマハ・キャロット」——財団法人・日本消費者協会が発行している商品テストと暮らしの情報誌・月刊「消費者」の4月号でファミリーバイクと女性用ヘルメットのテストが行なわれています。

ファミリーバイクは、販売店さまから購入した6機種、ヘルメットも8種が、使う人の立場に立って厳しくテストされています。

性能総合評価Aは「キャロット」。そしてヘルメットは「ヤマハAS-500」。ちなみにキャロットの評価をご紹介します——最も軽量で扱いやすく、しかも走りやすいものだった。荷物を前カゴに入れてもバランスがよく、走りやすかった。(後略)



〈表紙〉身がまえずに乗れる気軽さが好評。'80年代の「ヒューマンバイク」『SR250』

# 私にとってのバイク、 それは「若さ」の証明以外の 何ものでもありません。

「バイクとの出会いは、なんてことなかったんです。ただ、仕事上の必要性から免許をとったという位。でも、局の乗車訓練でオフロードを走らされてからは、もうバイクに首ったけ。それこそ初恋の想いと同じで、すぐに購入。通勤に、ツーリングにと、日夜バイクに親しんでいるんです。」

SR400からXS650スペシャルへと乗り継いだ今年、2月にはDT250を手に入れましたが、現在はひとりでの林道ツーリングに夢中。健康を気にする年齢を迎えているわけですが、「若さ」の証明としてもつばらオフロード走行の魅力にのめり込んでいるんです」(坂本式さん30・電々公社勤務)



# ンガ

走っているだけでスポーツ感覚が味わえるバイク。それだけにまた、その楽しみ方も人それぞれに違う。ある人にとってみれば、ファッションの小道具であつたりまた、ある人にとっては、若さを確認するメジャーであつたり。さらに、ホビイとして楽しむ人もいれば、気ままな小旅行の足として休日ごとに愛用している人もいる。ようするに、昨秋のモーターショー以来、ヤマハが提唱してきた〈ビューティフル・モーターサイクル・ワールド〉の思想が着実に社会の中に浸透している、ということになるのだが……。「男の夢は齡をとらない！」——とは、現在ヤマハが展開している一般誌広告のヘッド・コピーのだが、アダルトユーザーの激増も含めていま、まさにバイクは、スポーツフィーリングの時代を迎えているのだ。



動物的なスポーツ感覚。  
バイクは  
スキーやアイスホッケー、  
ヨットと同じ  
ホビイのひとつ。

「ふだん歩いていては味わえない感覚ってありますでしょう。たとえば、スキーやアイスホッケーなどでのターンの時のバランス感覚とか。バイクも似ているんですよ。これらのスポーツの動物的な感覚と。そもそも私がバイクに乗り始めたのは高いの時。でも、現在のプロダクションに入社して以来は、ずーっと離れていたんです。でも、5年前に仕事でバイクのCMを扱った時、再びバイクへの情熱が呼び起されてGX750の購入へ。今はXS750スペシャルに乗り換えています。時には独りで息抜きのためのツーリングに、またある時は女房をのせてマリナーへと使い分けています。確かにクルマは私にとって足といえます。でも、バイクは別。メカニズムのおもしろさも含めて、完全に私のホビイのひとつなんですネ」（溝口哲也さん(36)・テレビCMプロデューサー）

# バイクはたまに スポーツライダー



走り出した瞬間に感じる自由さ。  
バイクは僕の人生の友達なんです。

「機械ものは昔から好きだったんです。で、当然バイクも高校生の頃から乗り回すように。もつとも、乗り回すといってもバイクの場合には独りでツーリングをするくらいでしたが。もちろん、クルマにも乗ります。今はジープを愛用していますし、カートもレースを楽しんでいる。でも、やっぱりこれらとバイクの楽しみ方は異質なものですネ。では、何がバイクの楽しさか——というと、バイクには一緒になって空間を飛んでいる

といった一体感がある。自分の体調が悪いときは運転してはそれなりにわかりますしネ。現在、愛用のバイクはXS650スベシャルですが、朝起きて天気がいいときは仕事で使ったり、また休日は子どもを後に乗せてツーリングなど。周囲を見ても正統的なバイク乗りが増えていますが、走り出した瞬間のフリーな感覚は、これからも一生僕の人生に大きく影響を与え続けることでしょうね(阿部芳守さん(30)・婦人服製造販売)

# として づけられている!

さまざまな人たちがマスコミ文化をリードする4人はまた、熱烈なバイク・ファンとしても知られている。その彼らが語るバイク観が、期せずしてアウトドア・スポーツとしての位置づけ。スポーツがファッションとして多くの人の生活に広まる中で、バイクの楽しみ方も多様化されている現象を、さまざまな角度から分析してくれたのだ。



バイクは遊びのひとつ。  
せっぱつまつたところで  
つき合う時代はもはや終わった!

糸井重里(いといしげさこ)氏

広告界から出版界・テレビ界にまで活動範囲を広げて大活躍中のコピーライター。つい最近では、華麗な衣裳をつけた沢田研二が歌う「TOKIO」の作詩を担当して、音楽界でも才能を見せる。氏がまたがる愛車は、つい先頃デビューしたてのXS400スベシヤル。

「昔のバイクのイメージといえば、どちらかというと『ブアー』そのものだった。実際、バイクの上にはクルマが位置していたし、人びとの目は皆、クルマに奪われていたのだから。でも、ミニバイクが出始めてからは、バイクに対する見方も変わってきた。便利さや経済性が認識され、ついにはファッション的な価値まで生

まれるに至っている。で、現在のバイクの見方はどうかといえば、むしろ「リッチ」な感覚が充分。僕にしても、気ままに乗るところにバイクの良さを感じているし、スポーツごころを楽しんでいるように。

もっというなら、例えばツーリングにしても往きだけバイクを使い、帰りはホテルにバイクを置いて新幹線を利用。また、翌週にはその逆を行ない、バイクで戻ってくる——なんて余裕だって、これからは出てきてもおかしくない。

そういう意味では、もはやバイクは、せっぱつまつたところできつ合う時代は、終わったといつてもいいのかもしれない。

街中を走っているだけで  
すごくスポーツライクなバイク。  
この健全さは徐々に理解されている!

中部博(なかべひろし)氏

週刊プレイボーイのルポ・ライターとして活躍する氏はまた、NHK教育テレビの「若い広場」(日曜夜10時半)の司会者としても有名。バイクはもちろん、カートやラリーにも精通する根っからのモータースポーツ・ファンで、現在はSR400を愛用中。

「バイクって、誰が乗ってもスポーツ的でしよう。モトクロスだからって、ロードレースだからって、トライアルだからってモータースポーツ競技に限らず、ただ街中を走っているだけでもすごくスポーツライクですよ。

そういう意味では、すごく健全だと思っんです。確かに暴走族によつ

て、そこらへんの認識がこの間ゆがめられてきましたが、でも今は誰もが暴走族IIバイクではないことを知っている。だから、ここにきて再び、キチンとした乗り方の人が増えていくんだと思います。

僕自身、10代の頃にはほとんどバイクに乗る機会がなかったんですが、ある仕事でキツカケてバイクの健全さを認識するようになったわけです。こういったユーザーは現在すく多いハズ。だからこそ、また販売店でも、従来のツーリング活動やスポーツ活動とは違った意味での普及活動がもたられているのではないのでしょうか。」



# いまやバイクは、アウトドア・スポーツ位置



**バイク本来の  
スポーツとして楽しむといった  
市民権がようやく確立されつつある！**

栗原玲児（くりはられいじ）氏

テレビ朝日系の「溝口モーターリングショー」でおなじみのテレビ・レポーター。そのほか牛肉の輸入事業でも才覚を示し、秒きざみのスケジュールをこなす。バイクはSR400、GX400をはじめ外車を含む計6台を所有。

「バイクといえば、そもそも仕事用から生まれてきたと思いがちですが、そうではないんですよ。イギリスを見ればわかりますが、スポーツから始まっている。スポーツとして楽しんでいるからまた、紳士のバイクとしての市民権も持っているんですよ。」

「それこそバイクに乗るなんていったら白い目で見られがちだったように。実はそんなことから、私もひそかに乗るようになってしまったんですよ。」

でも、今は違いますネ。中年ライダーの増加現象ひとつをとってもそうですが、バイク本来のスポーツ性が見直されてきている。さらに、そのスポーツ性も乗り越えるのにアウトドア・スポーツとしてのとらえ方がされてきているんですよ。

健康のため、自然に触れたいから、とその理由は異なっても、気軽にバイクに乗る人が増えてきた。そういう意味では、ここにきてようやくスポーツバイクの市民権も確立されてきた、といえるのではないでしょうか。」

**バイクは自分ひとりのもの。  
コンクリートジャングルの中でも  
まだまだ楽しめる余地は充分ある！**

油井昌由樹（ゆいまさゆき）氏

わが国のアウトドアスポーツ・ブームの火つけ役。東京・青山でアウトドアスポーツ用品のショップを開くかたわら、「ポパイ」等の雑誌編集にも協力。さらに最近では、黒沢明監督の「影武者」にも徳川家康役として出演するという多芸ぶりを発揮。64年型のノートンをこよなく愛するマニア中のマニアでもある。

「アウトドアスポーツ用品がここまで普及した背景は、やはり日本人が管理化された社会の中でより合理的なものを求め始めたからといえるでしょうネ。」

携帯に便利。役立つものを簡単に仕上げてある。バッグなどは両手が使えるように設計されている。これらの合理性が、日本人のニーズと

致したからに他なりません。バイクだって同じ。便利だし、経済的だし、それによってスポーツ感はずわええるし。そんなところからユーザーになっていく人って、結構多いんじゃないかと思えますネ。

例えば、50ccバイク・ユーザーにしてもそう。いくら都会のコンクリートジャングルの中には野性感ってないかもしれないけど、ことバイクは制限速度内だってスポーツ感を味わうことができますから。

現代人は自己演出が得意ですが、バイクなんかはその小道具として最も似合っているのではないのでしょうか。」



# 高まる ハススポーツへの期待

## 好評!『XT250』&『SR250』



**XT250**

「オフロード車にとって、車重が軽くシート高が低く、サスペンションがいいということは絶対の条件。XT250に関しては、まずこの点で既存の他車を断然上回っているといえる。タイヤのくいつきもいいし、ハンドリングはクセがなく軽い。さらに、ブレーキもいいし、エンジンも加速ポンプがついている分だけ低速からの粘りを増している。しかも、それでいて振動はないので、乗っていても疲れない。ツーリングからトライアル的な走りまで、あらゆる可能性を秘めたバイクだ。」

●石井重行氏(オートバイ誌テストライダー)  
**また一段と完成されたモデル。  
 ツーリングからトライアル的な走りまで  
 あらゆる可能性を秘めたバイク。**

「ヤマハスポーツ250cc.新時代」のトップを切って新発売された「XS250スペシャル」と「GX250SP」。それを追うかのように、4月10日からは「XT250」と「SR250」も新発売されましたが、これに先がけ去る4月9日には二輪専門誌をはじめとする記者発表試乗会を開催。静岡県・浜北トレールランドを中心に、期待の新車――

「XT250」と「SR250」のインプレッションが行なわれました。250ccとして独自に開発した新機構、新技術がもり込まれた今回のニューモデル。それだけに各雑誌社とも新車発表に寄せる期待は大きかったのですが、この試乗会にはモーターサイクリスト、オートバイ、モトライダー、ヤングマシン、ミスターバイク、ライ

ダースクラブ、別冊モーターサイクリストをはじめ、週刊プレイボーイや週刊平凡パンチ、モーターサイクル・ジャーナリスト・アソシエーション等の各社(団体)が参加。オン・オフ両サイドからの検討が加えられ、ヤマハ技術陣の自信作への絶賛の声が寄せられていたのです。



**セメこめば結構セメこめるし  
 ビギナーでも安心して乗れる。  
 最も完成度の高い  
 トレール車といえる!**

●松尾孝昭氏(モーターサイクリスト誌編集スタッフ)

「いろんな角度から乗ってみたけれど、オン・オフともに楽しめる。セメこめば結構セメこめるし、それでいてビギナーの人にも充分に乗りこなせるし、最も完成度の高いバイクではないだろう」



# さらに ヤマ



浜北トレールランドとその周辺で行なわれた試乗会。各テストライダーからは、高度なヤマハの技術に対する賞賛の声が聞かれた



本社会議室で行なわれた説明会では試乗後のホットな感想が飛び交うなど、いままでにない盛り上がりを見せてくれた

コミュニティバイクとしての  
目的がハッキリあらわれている。  
とにかくバイクらしいバイクだ!

●黒田正章氏(ヤングマシン誌テストライダー)

「乗りやすいし、気楽に乗れる。それでいて、バイクらしい運動性を可能性として持っている。回転を上げても操安性がいいし、太いリヤタイヤにありがちなクセもなく、初心者にもスムーズに親しめる。80〜90km/hでのクルージングは快適そのもの。とにかくコミュニティバイクとしての開発意図が、あらゆる部分から感じられた。試乗は25km強だったが、低速での振動も感じられなかったし、ライダーの許容範囲を広げてくれるバイクという印象を受けた」



SR250



か。ダートでとくに感じたのが、シート高の低さとサスの威力。パワーもアクセルを開けた分だけフラットに伝わるし、安定感も抜群。オンロードでも、このバイクはロードスポーツと互角かそれ以上と思ったほど。各部からは、技術者の努力して作られたあとがひしひしと感じられた」



軽いながらも安定感は充分。  
シートも低いし、ポジションもグーだし、  
すぐ扱いやすいバイクという印象

●相沢育子さん(モトライダー誌テストライダー)

「見た目からも軽そうだと思ったけど、実際乗ってみるとそれが顕著に感じられた。とはいえフラつきはなく、50ccや125ccとは安定感が全然違う。ポジションもすくよかったし、コーナリング性能も最高。かなりのスピードでつっこんでも不安は全く感じられなかった。それと、もうひとつ気に入ったのが低速での安定性。かなり回転をおとしても平気だし、扱いやすさは抜群。音が静かでスムーズに走れる。セル専用なのも嬉しいですね」

# 春から夏へ 販促活動まっさかり!



## 広島

いま『タウンニィ』は  
幅広く男たちのこころを  
とらえ始めた!

●タウンニィ店会議で意気あがる広島の販売店みなさま

まず最初に紹介するのは、新しいシステム「レンタル・タウンニィ」を主軸に、積極的な男性ソフトバイク市場の形成に挑戦する広島市の販売店さまが開催した「ヤマハタウンニィ店会議」の話題から。

新発売からひと月、タウンニィ販売の現状の情報交換を中心としたこの会議では、「30代の男性ばかりではない。ヤングにも、さらに40代の、6輪使い分けの男性にも、ときわめて幅広い人びとにアピールしている」という声が多く聞かれたものです。

4月9日、広島シティホテルにヤマハ広島㈱・広島営業所管内の販売店さま29店が参集して、その名も「ヤマハタウンニィ店会議」が開かれました。

これは、発売以来ひと月、タウンニィは、どのような市場評価を集めているのか? ま

男のソフトバイク「タウンニィ」の登場で、はなばはしく幕を開けた80年春商戦も、「ヤマハスポーツ250cc新時代」のスタートで一気に最高潮へ。今年も各地から、活発な販売促進活動の便りが寄せられています

た現実のユーザー層はどんな広がりを見せているのか? — についての情報交換。さらに今後の男性ソフトバイク市場形成に向けてどんな活動を展開していくべきか? の活発な討議が行なわれたものです。

この中で特に興味深い点は、参加販売店みなさまによって紹介された「タウンニィ」ユーザーの傾向。そこには、メインターゲット「男30代」を越えて、予想以上に幅広い男たちの心をつかんだ「タウンニィ」の姿が浮き彫りにされています。

そのいくつかを紹介すると —  
「やはり30代のお客さまが多いですね。中でも4輪のオートマチックに乗っているような方が。イメージライディングでもスタイルはスポーツテイ、そんなところが好まれているのでしょう」(テラマサオート・寺田 正社長)「45才の男性で、渡辺貞夫さんの大ファン





近くの銀行の駐車場で開催したタウニイ発表試乗会を終えて北野社長と奥さま富貴江さん

さて「タウニイ店会議」ご出席の販売店さまの中から宇品ホンダさんを訪ね、より詳細な「タウニイ」販売の現状をうかがってみました。宇品ホンダさんは、4月5日現在、「レンタル・タウニイ」の試乗者70名を数えるほど、積極的に「レンタル・タウニイ」を活用されているお店です。

「やはりタウニイの良さを知っていたくためには、実際に乗ってもらうことが一番。うちではタウニイ発表試乗会はもちろん、修理で来店されたお客さまにも積極的におすすめして試乗していただいています。」

また、タウニイとお客さまの接する機会を増やすために近くのガソリンスタンドにも展示していますが、これも試乗可能なレンタルタウニイ。もちろん私が外出する時にも必ずタウニイです。広島市民球場へ広島カープの応援に出かける時でもね……。

特に店頭でみる限りは、若い女性の関心も高いようですよ。パッソルが若い男性にブームを起こしたように、ひょっとしたらタウニイも女性の人気を呼ぶのかも知れませんね。ともかくこしばらくが楽しみですね。」

外出はいつも『タウニイ』  
あらゆるチャンスを使ってアピールしています。

●宇品ホンダ販売・北野政臣社長(広島市宇品海岸)



タウニイ発売ひと月の情報交換、今後の展開に熱のこもった意見がとびかう「ヤマハタウニイ店会議」



この意気込み！おそろいのタウニイ・ジャンパーに身をつつみデモカーを駆って参加された広島のタウニイ店のみなさま

# 東京

## のべ6日間の出張展示会で '80年商戦のスタートダッシュを!

### ●東京都三鷹市・オートショップ古田(古田哲郎社長)さん

という方がみえられて、ナベサダが乗っているから、と購入されたお客さまもいます」(サイクルセンターあらたに・荒谷好信社長)

「女性にもずいぶん分うけていますよ。高3のいとこの男性と一緒にパッソルを買いにこられた大学1年生の娘さんが、タウニーに一目惚れされたというケースもありました」(北中商会・北中 浩社長)

「高校生もそうですが、うちでは大学生あたりの20代前半の男性に受けているようです。

スポーティなスタイルとタフな感じが好評です」(宇品ホンダ・北野政臣社長)

——というところ。まぎれもなく「タウニー」は、世代を越えて幅広い世代の人の注目を集めているのです。

また、ここ広島では小学生のチビッ子の間で「ボクのバイク」という言葉が、流行語にまでなっています。こんなところにも、家庭の中に深く浸透しつつある「タウニー」の姿が表われているようです。

また、この会議では「タウニー」による男性ソフトバイク市場の形成に長期的な取り組みが確認されました。

そして、各店の協同作業として5月から7月までの最需期には、広島テレビを通じて各販売店名入りの「タウニー」テレビCMの放映が検討され、新聞折り込みチラシとあわせて一大キャンペーンの展開が熱心に討議されていました。「タウニー」旋風も、もう目前。まさに意気あがる広島タウニー店のみならずです。

「タウニー」とならんで、80年商戦のもうひとつの焦点はスポーツバイク。4月からは「ヤマハスポーツ250cc新時代」もスタートし、例年になく急激な盛り上がりを見せています。

こうした中で、東京・三鷹市の「オートショップ古田」さんでは、3月下旬と4月上旬の2回にわたり一大展示会を開催。ひと足早い「ヤマハスポーツ250cc新時代」を告げて多大な成果を収めたものです。

駐車場を、3日間で10万円の契約で借り、4万枚の折り込みチラシと専門誌の広告による告知で行なったこの展示会は、常連のお客さまたちの口コミによる宣伝もあり、また、会場が三鷹市内を走るメイン通りに面していたこともあって通りがかりにこの催しを知り来場した方々も多勢いました。

約200坪の会場に展示されたバイクは、発売まもないXS400スペシャル、250スペシャルから、いま話題のタウニーまで約80台。

客さまの来場も順調。結果的にもXS400スペシャルなど多くのスポーツバイク、さらにタウニーやパッソルなどのソフトバイクを含め約80台にものぼる契約を一気に達成したものです。

また、こうした大きな成果ばかりでなく、

今後新発売が予定されている250ccスポーツシリーズへの間合わせが、相ついだことも大いに注目されたところ。

この意味でも「オートショップ古田」さんの一大展示会は、きわめて強力な80年商戦へのスタートダッシュであった、といえそうです。

ファミリールーバイクの販売はもちろん、中大型スポーツバイクもかなり販売されるオートショップ古田さんは、5月ともなるとサービスの仕事も忙しくなります。

「お天気の影響もあって、来場者数を予想することは困難ですが、何人の人々に来場してもらえかが問題ではなく、何台販売できるかが問題です。6日間でここに展示した台数を販売しよう。また、できる」といった計算のもとに実施しました」(古田社長)

2回とも、週末の金・土・日の3日間で開催されたこの展示会、金・土はお店を守る人と会場で接客する人に分かれ、日曜はお店を閉めて、陣頭指揮の古田社長をはじめ奥さま、従業員さんと総出て接客に当たりました。

しかし、XT250の予約をはじめ10台以上のヤマハ中型スポーツが販売された

も暖かくなって人々のバイクに乗ろうという気持ちが高まる3月下旬から4月にかけて、一大出張展示会を開催し、春の商戦というより80年の商戦に一気にはずみをつけよう、とこの展示会を実施されたのです。

お店から約1キロ離れた、三鷹市役所近くの交差点わきにある三鷹スポーツガーデンの

時期的なタイミングの良さも手伝って、お



テントには次々と購入契約者が

タイプも色も豊富に取り揃えられたソフトバイクコーナーには、家族連れや、アベック、若い女性ユーザーが、古田社長らのアドバイスで自分に合ったバイクを次々と契約

→男のソフトバイク「タウンニィ」も大人気



春の大展示会を大成功させた古田哲郎社長

## 盛岡

# 販売店さまを窓口 に二千人の母と子が集う

## ●ヤマハ交通安全ファミリーキャンペーン

地域の信頼を集めるお店づくり、が特に大切な課題となっている80年。それだけにこの春の販促活動では、各地の販売店さまとヤマハが一体となって活発な交通安全普及活動が展開されたのも大きな特徴です。

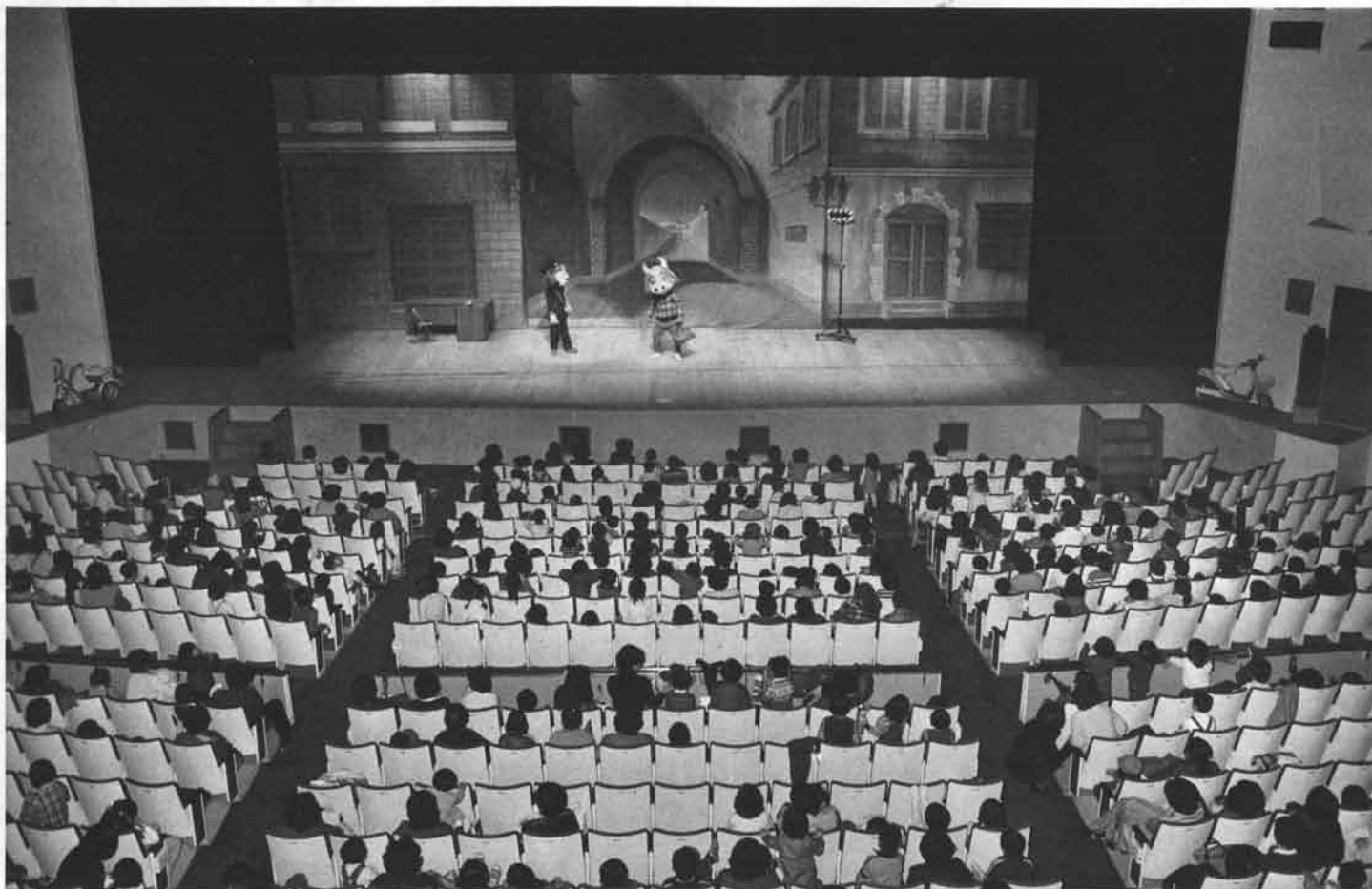
二岩手県盛岡市では、ヤマハ東北盛岡営業所が、ぬいぐるみ人形劇団「ピッカリ座」を招いて、楽しみながら交通安全を学ぶ「ヤ

マハ交通安全ファミリーキャンペーン」を企画、販売店みなさまの協賛を得て、大盛況を収めました。

岩手県内のヤマハ販売店さんの協賛のもとに盛岡市、盛岡警察署、テレビ岩手の後援を得て開催されたこの催しは、販売店さまからの口コミによる宣伝、ダイレクトメール（盛



200坪の会場に約80台を展示「新発売のSR250や、XT250を見てももらえなかったのは、残念ですが…」と古川社長。



会場の岩手県民会館大ホールには約2千名の母と子が集まる大盛況ぶり



幕間にはパンダちゃんがマリックに乗って、うたのおねえさんから「ヤマハ原付免許教室」のご案内も



キャンペーンを成功させた盛岡営業所管内のヤマハフレンド店のみなさま

岡営業所宛の入場申込書をそなえた往復ハガキの発送、そして岩手日報全7段の広告により、主に新入園や入学を迎えるお子さんとその母親の方々に呼びかけ実施されたものです。こうした趣旨から、公演は春休みにタイミングを合わせ、4月2日に行なわれました。

公演は午後1時と3時の2回、それぞれ第1部は「ファンタジックミュージカルショー」、第2部は「パンダちゃんのゴー、ストップ」と2部に分け行なわれ、この2回に計2千名もの母と子が集いました。

1部のミュージカルショーは、おねえさんやぬいぐるみによるうたと踊りのショー。つめかけたお子さんたちは手拍子を打ったり、一緒に踊ったりして楽しみました。

そして2部は、ぬいぐるみ人形による交通安全教育です。「道路の横断は必ず信号のある横断歩道で。もちろん信号は青になってから」を中心に、楽しみながら学んでいました。

当日は盛岡市内の販売店さんを中心に、会場となった岩手県民大ホールにお客さまたちをご案内しながらこられた販売店さんも多く、そのおひとり、市内本町通りの小原サイクルの奥さま・小原さつきさんは、この催しの反響について――

「うちでは、免許教室を受講されたお客さまたちを中心に、約80通のダイレクトメールのご案内しましたが、とくに申込受付窓口となる販売店名を連記した新聞広告が出ると、それまで縁のなかった多くの方々から問い合わせがありました。今日は両方あわせて50人ぐらいのお客さまが会場に見えられています。春休みの催しとして大変歓迎されていますね」

――とお店と地域のより幅広い人びと、それもお母さまとお子さんという、ご家族ぐるみのおつきあいの糸口として、確かな手応えを感じられていたようです。

そして、この催しを企画した盛岡営業所の小梨勝彬所長も「ヤマハの姿勢として広く交通安全を呼びかけるとともに、販売店さまとお客さまたちの接点づくりに役立てていただくよう実施しました。即ご商売に直結するところではないかも知れませんが、この成果がさまざまな形で実を結ぶはず」と今後の展開に大きな期待を寄せていました。

ワイルドに、イメージ一新。

# NEW BOBBY LB50Ⅲ-H 新発売!

●カラー：クリスタルシルバー/マッディグリーン

シティ感覚あふれるレジャーバイクとして好評の「ボビィ」のうち、50ccハンドクラッチ、ロータリー式4段変速のLB50Ⅲ-Hが、よりワイルドにイメージアップ。同時に使いやすさと安全性の向上を図って新登場しています。

## ニュー「ボビィ」LB50Ⅲ-Hの 新たな特徴

ニュー「ボビィ」LB50Ⅲ-Hは、ご覧のとおり●前後にビッグキャリアを新装備。●ヘッドライト●メーター●シートまわりのデザイン、カラーリング・グラフィックの一新と合わせて、一段とワイルドにイメージアップ。レジャーバイク、タウンバイクとしての遊びの世界を大きく広げています。

タフネスとねばり強さで定評の2サイクル・トルクインダクションエンジンには●始動性にすぐれメンテナンスフリーのC



D I 点火方式を採用。

また、●メインスイッチ部からハンドルスイッチ部へ移動して、さらに操作しやす

くなったヘッドライト点灯スイッチ●夜間見やすいオレンジ照明のスピードメーター●スピードメーター内に新設されたフラッシュャー・インジケータールンプ●前後ブレーキのライニング摩耗インジケータ―●工具を用いずに調整可能なフロントブレーキ●17W/5.3W と容量アップしたテールランプ、ストップランプ●さらに、テールランプのDC点灯化……などの新採用と、細部に至るまでキメ細かな安全性の充実を図って、その商品性を大幅に向上させています。



### 〈ボビィLB50Ⅲ-Hの主な仕様諸元〉

●全長1705mm ●全幅670mm ●全高965mm ●軸間距離1055mm ●シート高740mm ●乾燥重量75kg ●2サイクル・トルクインダクションエンジン ●ロータリー式4段変速 ●CDI点火方式 ●最高出力3.7PS/6000r.p.m. ●最大トルク0.45kg-m/5000r.p.m. ●燃料タンク容量3.4ℓ ●オイルタンク容量1.3ℓ ●タイヤサイズ4.00-10-2PR(前後とも)

オフロード機能をアップして、さらにたくましく  
**NEW DT125 新発売!**

●カラー：クリスタルシルバー/コンペティションイエロー



見やすい傾斜型メーター。メインスイッチはこのクラス初のステアリングロック連動式。

〈ニューDT125の主な仕様諸元〉

●全長2105mm ●全幅865mm ●全高1120mm ●軸間距離1340mm ●シート高830mm ●最低地上高270mm ●乾燥重量99kg ●燃費50km/ℓ(50km/h) ●2サイクル・トルクインダクションエンジン・単気筒123cc ●最高出力14PS/7500r.p.m. ●最大トルク1.4kg-m/7000r.p.m. ●点火方式CDI ●燃料タンク容量6.8ℓ ●オイルタンク容量0.9ℓ ●リターン式6段変速 ●鋼管セミダブルクレードルフレーム ●タイヤ(前)2.75-21 (後)3.50-18



ヤマハ独自のモノクロス・サスペンション、軽量・コンパクトでスリムなボディ、高性能7ポート・トルクインダクションエンジン——これらの絶妙なトータルバランスによって、オフロードで、オンロードでいかにその真価を発揮するトレールの雄「DT125」が、さらにたくましく鍛えぬかれて新登場。圧倒的な支持を集めるオールラウンドな走りが、また一段と完成度を高めています。

## 中低速性能をそのままに パワーアップした トルクインダクション・エンジン

毎分7500回転で14馬力。ニュー「DT125」第一の特徴は、さらにパワーアップした7ポート・トルクインダクションエンジンです。しかも、粘りづよい中低速性能はそのままに高速での伸びと、シャープなスロットルレスポンスを向上させたもの。オフロードで、オンロードでそのハイパフォーマンスを一段とアップさせています。

あわせて、点火方式には始動性にすぐれ、低速から高速まで安定した火花性能を発揮、しかもメンテナンスフリーのCDI点火方式を採用しました。

また、オートループポンプのワイヤーにはオートアジャスト式のワイヤーシリンダーを採用して、ワイヤー調整を不要にし同時にオイル消費ロスを低減、燃焼室や排気系のカーボンまわりによるパワーロスを低減させています。

また、静しゆく性の向上も大きな特徴です

が、これは大容量エアクリーナーケース、シリンダヘッドのフィン鳴り防止リブ、スチールネットとグラスウール併用式のマフラー、反転式サイレンサー等によって吸気音、メカニカル音、排気音の総合的なノイズ減少を図ったものです。

## 充実した足まわりで、 オフロードの走破性をアップ

オフロードにおける抜群の走破性と、オンロードでの快適な乗り心地を生み出しているリヤのモノクロス・サスペンション。その優秀性は、ワークス・レーシングマシンによって十二分に立証され、いまでは各社こぞって同様の方式で追随しているところですが、ニュー「DT125」では、新たに三角形のリヤアームを「YZ125/250」と同タイプの角型とし、剛性アップを図って、モノクロス・サスペンションの性能を、さらに向上させています。

またフロントのロングストロークのリーディングアックス型フォークは従来同様ですが、前後輪ともにニューパターンタイヤを採用。

これは、オン・オフいずれでもグリップ性能を向上させたもので充実した前後のサスペンションとあわせてオフロードの走破性を高めています。またこのニュータイヤには摩耗限度がひと目でわかるウェアインジケーターも採用しました。

この他車体関係では、前後のドラムブレーキにライニングの摩耗状況がひと目でわかるインジケーターを採用。また、メインスイッチもこのクラスでは初めて便利なステアリングロック連動式を採用しています。

なお、フロントフォークのラバーブーツ、チェーン外れを防止するチェーンテンショナー、メンテナンスの容易なリヤのスネーク式チェーンプラーとリヤホイールの差込み式トルク止め、ラバースターのフレキシブルフラッシュャーランプ、読みとりやすく傾斜させたオレンジ照明のメーター類、扱いやすいパワーレバーなど充実した装備は、従来モデル同様に活かされています。



## 使いやすさと安全装備 を充実 NEW YB125



### 〈ニューYB125の主な仕様諸元〉

●全長1910mm ●全幅750mm ●全高1050mm ●軸間距離1250mm ●シート高750mm ●乾燥重量109kg ●2サイクル・ピストンリードバルブエンジン・単気筒123cc ●始動方式セル・プライマリーキック併用 ●点火方式バッテリー ●最高出力11PS/6500r.p.m. ●最大トルク1.2kg-m/5500r.p.m. ●燃料タンク容量11ℓ ●オイルタンク容量1.2ℓ ●鋼管ダブルクレードルフレーム ●タイヤサイズ(前)3.00-16-4PR(後)3.00-16-6PR ●ヘッドライト12V35W/25W ●テールランプ12V27W/8W

先に新発売のニュー「YB50」「YB90」にひきつづき、ビジネスバイクの最大排気量車「YB125」も、定評の高性能エンジンと充実した装備を一段と向上させて新発売です。

### ニュー「YB125」の新たな特徴

●より使いやすく、より安全に、を主眼に大幅な充実が図られたニュー「YB125」

使いやすさの向上の点でまず第一に挙げられるのは●中低速性能をアップした2サイクル・ピストンリードバルブエンジン。これにより低速から高速まで一段と力づよく、タフで粘りづよい高性能を発揮し、さらに扱いやすいエンジン特性となっています。

また●燃費も従来モデルに比べ5km/ℓアップして50km/ℓ(50km/h)となっていますが、これもエンジンの中低速性能の向上によって減速比を下げたためです。あわせてオートループポンプのワイヤーには●自動調整式ワイヤーシリンダーを採用してオイル消費量も低減させて経済性を向上させています。

さらに●シートとグリップラバーの形状、材質も改良。一層ソフトな乗り心地を確保するとともに、足つき性も向上しています。

その他●扱いやすい負圧コックの新採用●燃料コックとメインスイッチの日本語操作表示なども、使いやすさを向上させた変更点。

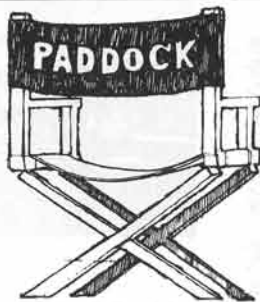
一方、安全性の面でも●左右標準装備となったバックミラー●ハンドルスイッチ部に移動したヘッドライト点灯スイッチ●10Wとさらに明るく、大型となったフラッシュャーランプ●27Wに光量アップしたブレーキランプ●パイロット・ボックスの新設とハイビームの追加でさらに見やすくなったメーター類●前後ブレーキに新設されたライニング摩耗インジケーター……など、キメ細かい充実が図られています。



旅ごころ

5月ともなれば、初夏の光に満ちあふれるドイツ・ヘッセン地方の田園地帯。緑のじゅうたんがオフロードランの楽しさを駆りたてる。

ヤングからミドル、ミスからミセスまでの話題と流行の情報コーナー・話のパドック。お客さまとの話のタネに、どうぞ――



## スポーツ

### ●釣りのブーム、テレビにまで

アウトドアスポーツのひとつとして、しっかりと定着したモーターサイクルの姿が本誌今号の特集。このモーターサイクルと並んでスポーツとしての位置づけを定着させているのが「釣り」です。

もともと日本では、釣り人口2千万人などといわれてブームを呼んでいたものですが、テレビのゴールデンアワーにも釣り番組が大学登場して、このブームも一気に定着した感があります。

ゴールデンアワーで初めて放送の釣り番組は、フジテレビ系全国ネットで4月7日からスタートした「釣りキチ三平」(月曜日、夜7時)。第1回放送分の視聴率は、11.8%という高率をマーク。

これに対してNHKでも教育テレビで8月から11月まで「釣り入門」(月、火曜日、午後6時)を予定。また全国ネットではありませんが日本テレビの「ワンポイント釣り百科」(日

曜日、朝8時55分)、テレビ朝日「みんなの釣り天国」(土曜日、朝7時45分)もすでにスタートして大好評。

ますます拡大しそうな釣りブーム。そういえば、バイクと釣り、野性味たっぷりのアウトドアスポーツとして一緒に楽しむこともできるものですね。

## レジャー

### ●レジャー資金は宝くじで

さて、こんなスポーツやレジャーに欠かすことのできない資金を、ぜひ宝くじで!

——というニクイ狙いの宝くじを東京都が4月10日に新発売?しました。

主婦やヤングなど新しいファン層の開拓をめざしたこの宝くじは、その名も「レジャーくじ」。賞金は1等30万円と残念賞千円の2種類だけ。とはいえ、1等の当る確率は、1千万円宝くじの14倍というところがミソ。

発売2日目にして15億円分を売り上げた、という大反響ぶりですが、それにしても、財

政難の東京都、ニクイところに目をつけたものです。

## 海外旅行

### ●「世界一高いトウキョウ」やつと脱皮

一方、レジャーといえば相も変らぬブームを呼んでいるのが海外旅行。これは何も日本に限った傾向ではなく、日本を訪れる外人旅行者も年々増加の一途をたどっています。

こんな中で、外人観光客の誘致に当たっている国際観光振興会が先ごろ、「世界一高い」と観光客の間で悪評ファンタムたる東京都の旅行者物価指数を調査。「東京の旅行者物価は海外の主要都市と比べて決して高くはない」という発表を行なっています。

旅行者物価指数とは、ホテルの宿泊代、レストランの食事代、タクシー料金など旅行者に欠かすことのできない7項目を比較したものの。ちなみに同会の調査によるワーストテンは、①パリ、②フランクフルト、③ジュネーブ、④ニューヨーク、⑤香港、⑥シカゴ、⑦ロンドン、そして⑧が東京、⑨シドニー、⑩ロサンゼルス順。

## マスコミ

### ●'80年は空前の雑誌創刊ブーム

こんなスポーツブーム、レジャーブームを反映して、こんな分野を中心に雑誌の創刊が相ついでいます。このブーム、久しぶりに本屋さんの店頭などをのぞいて見ただけでもビックリするほどの勢いですが、4月1日に創刊した「スポーツグラフィック・ナンバー1」を始め、5月2日創刊の「ミス・ヒーロー」、5月25日創刊の「ビッグ・トゥモロウ」などスポーツや健康を主題にしているのも特徴的なこと。

そして、もうひとつ話題となっているのが「億単位、の予算を投入しての大々的な宣伝競争。創刊誌ブームで誌名を浸透させるには宣伝しかない!」というのが競争に拍車をかけている原因ですが、195点とここ10年で最高を記録した昨年を大きく上まわり、最終的には230点ぐらいと予想される新雑誌の登場。さて、どんなユニークな宣伝がとび出すことやら? こちらも興味深いところですよ。





## サイクルショップ松園 及川忠志社長

岩手県盛岡市松園2の37の6 ☎0196-61-3836

岩手県盛岡市の中心街から約6キロの郊外に10年前から開発が進められ、約7割がすでに入居を終えた「松園ニュータウン」があります。この新しい町に3年前に開店された『サイクルショップ松園』さんは、「お客さまに積極的に情報を提供することが、販売店のサービス」と、折り込みチラシを中心に年間を通じたPR活動を展開され、はやくも商圏内トップの実績を示されています。

そして、翌年の53年2月に開店されたわけですが、及川社長と奥さまの保子さんは、開店の約半年ほど前から、すでに入居している人々に対して開店を予告するチラシやカレンダー、年賀状などを配り、ご挨拶とPRを積極的に展開してきました。

この事前PRは、及川社長が「開店当初から、自転車は思惑どうりの台数を販売する自信がありました。バイクはどの程度売れるものか見当もつきませんでした。ところが開店してみると、バイクがおもしろいように売れ、セールスマンと一緒にになってびっくりしたほどです」と語るように、大変な

# 「入居時代」の時代をめぐって お客さまへの啓もつきます 絶えまぎれずびっぴりします。

チラシで、カレンダーで、年賀状で：開店前からの積極的なPRがお店発展の原動力

この松園ニュータウンの入居が始まったのは昭和47年から。盛岡市内でトップクラスの自転車・バイク販売店に10数年間勤めてきた及川社長が、志どうり独立して販売店を経営しようと、ここに土地を購入して住宅兼店舗を建築したのが52年。



成果をもたらした、その後もお店発展の原動力となつていきます。

継続的なチラシ配布でバイクのある暮らしの広がりを感じよう

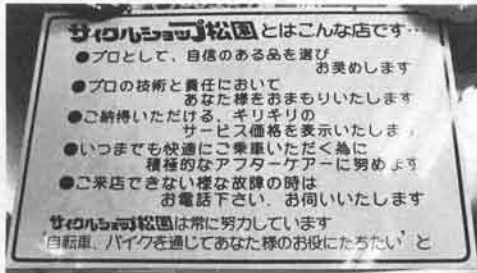
また及川社長は、開店前に店名のロゴタイプ(指定書体)や、お店独自のメッセージも準備しました。店頭看板はもちろん、店内のさまざまな掲示物、また開店以来ずっと継続して実施さ



れている折り込みチラシを通じて、この「サイクルショップ松園」の一貫した姿勢とイメージを商圏内の人びとに浸透させ、他店との差別化につとめているのです。折り込みチラシの内容、つまり訴えかけるテーマやデザインは、毎回、社長と奥さまそして担当セールスマンの間で慎重に検討されます。

「定価販売を貫き、そのかわりにお客さまたちの購入後の負担がなるべく少くすむような販売をすることがうちのモットーです。ですから、アフターなどはできる限りのサービスをしています。こうしたことをお客さまにも説得し納得していただいたうえで、お買いあげいただいています。こうした方針から、うちのチラシはパーゲンセール的なことを呼びかけるものではなく、お客さまたちにバイクの効用性を伝える、つ

「商売をやる以上、商圏内でトップの店にならなければいけない。そうならば、自然と商圏も広まり、さらに大きな商圏を対象とした販売もできるようになる」と語ります。そして、第一目標である松園ニュータウン



お客さまたちに対するお店からのメッセージを重要視する及川社長は、情報提供につながる様々な手段を試み、成果をあげている。

真実が使われているレジスターに注目！このレジスターは40万以上ですがコンピューターを内蔵。どの商品も販売して、どれだけの利益を得たか……。これらをしっかり管理できなければなりません。一日の終わりに、また毎月の終わりに、商品別の売上げを累計できるこのレジスターを4月から導入して、経営の合理化と近代化を図っています。



## サイクルショップ松園さんのご商売の概要

### ■立地と商圈

盛岡の中心街から約6キロの郊外に10年前より造成が進められ、全戸入居完了時には約5千世帯となる新しい町「松園ニュータウン」。お店は、この町のほぼ中心にあり、顧客のほとんどがここに住む人々。しかし最近はお客さまたちの口コミや紹介販売により、山ひとつへだてた盛岡市街地寄りの町々からの来店客も増え、商圈は徐々に広がっている。

### ■店舗・敷地面積など

敷地…67坪 (320㎡) 店頭展示スペース…約12坪 (40㎡)  
店舗…24坪 (80㎡) ●サービス場…2坪 ●接客コーナー…約1坪 ●経理・事務コーナー…約1坪を含む。

### ■お店の特徴

さまざまなお客さまが集まる人々が住む新しい町での新規開店。「まず商圏内の知名度を高めることから」と開店以来、積極的なチラシ作戦を展開。開店満2年で商圏内の需要のほとんどを販売するようになり、「松園ニュータウンでは店を知らない人はまずいない」というほど浸透している。

人手の問題もあり、外販活動より、チラシ折り込みを中心としたPR活動や、来店客への親切な対応、そして徹底したアフターサービスなどによりお客さまたちを誘い、確実に販売する方針をとっている。チラシ以外にも、店内にポップ類を豊富に備え、絶えず新しい情報をお客さまたちに提供することに努めている。

### ■販売促進活動

- チラシ折り込み…最低でも月1回、需要期には月2～3回、ニュータウン全域に折り込む。
- 原付免許教室…月平均1回。ヤマハから講師を招き、自店で開催。今後は、原付指導員研修会を受講済みの奥さまが講師となつての自主開催も計画中。教室開催の他、開店時より自習セットを10セット準備し、両面作戦で今までに約300名の方が原付免許を取得している。

この町の立地条件や住む人々の年代、職業などから、一家に一台のバイクはそう先のことはありません。そして将来は、一人一台、ひとつの家族で異なるタイプのバイクが使用されるように必ずあります。現在は、パッソラを筆頭にパッソル、マリックなど限られた車種にお客さまの人氣が集中しています。しかし今後は、奥さまはパ

この号がみなさまのお手許に届くころには、北国岩手も春らん慢。やり方しだいで前年同月にプラス10台も可能、毎月それを目標に頑張っています」と力強く語ってくれた「サイクルショップ松園」さんのご商売も、春の活気に満ちあふれたものとなっていることでしょう。

この普及に努めようと思ひ、それに取り組んでいきます。そして、これと併行して、店の体制を強化しながら、新しい商圏への進出も徐々に進めようと考えています」



ソフトバイクを中心に、整然と陳列された店内

パッソラ、ご主人はタウニイ、お子さんたちはスポーツバイクといったように、複数のバイクを使い分け時代を私たちがリードして実現させていくべきでしょう。そのためにも、スポーツやレジャーバイク





## チャ・ピイがとりもつた2人の仲 乗り方教室の「受講生」が 半年後に「ヤマハ奥さま」!

「商いは人なり」などといわれるように、販売店みなさまの長年のご商売は、その間にまたさまざまな人間ドラマを生み出しています。今回ご登場いただいた宮岡悦子さんの場合は、まさにそんなドラマの典型。それも、「さわめて」つきのハッピーなドラマの主人公。去る3月26日に販売店さんに嫁がれたばかりの、ういういしいヤマハ奥さまです。



ういういしいヤマハ奥さま悦子さん(中央)を迎えて、新しいご商売の展開にハリキる「宮岡モーターサイクル」のみなさん(左から、お母さま・トヨさん、ご主人・一夫さん、弟さんの昭夫さん、そして仙吉社長)



経理事務から接客まで、ご主人・一夫さんのやさしい手ほどきで悦子さんのパワーもめきめきとアップ

●**プロローグ**……舞台は埼玉県入間市仏子で、大正時代から半世紀以上にわたるご商売をつづけられている「宮岡モーターサイクル」(宮岡仙吉社長)さん。悦子さんのご主人・一夫さんは3代目に当る後継者です。

そして、悦子さんは「宮岡モーターサイクル」さんのある仏子の隣町・元加治から都下の会社に通勤されていた、ごく平凡なオフィスレディ。

そんな悦子さんが、昨年の夏「駅から家までの距離を、最も手軽なソフトバイクで通勤しよう」と思いついたのです。というのが、このドラマの幕開けです。

独自のヤマハ原付免許教室で多大な実績を上げ、この地域の人びとの信頼を集めていた「宮岡モーターサイクル」さんの「免許教室」に悦子さんも受講生のお一人として参加されたのです。そして、合格「次の段階としての「乗り方教室」の受講。それは、ごくごく自然な流れのひとつでした。

●**ハイライト**……とはいえ、お2人にとってはこの「乗り方教室」が、大げさにいえばこれからの人生を決める一大事となったのです。「まじめな人柄がにじみ出て、とても親切な指導に心うたれたんです」というわけでチャ・ピイの購入でスタートした悦子さんのバイクライフ。それは同時に、お2人のロマンスのスタートでもあったのです。

昨年の9月のこと。当時はふり返って一夫さんは「仕事柄、月曜日が定休日。会社勤め

の彼女とのデートの時間もなく、甘い思い出なんて……それよりも2人の心が通じ合うというところでしょね。ともかく早くから気心のわり合うツー・カーの仲でしたね」  
こうして、3月26日、お2人は周囲の人びとの暖かい祝福の中でめでたくゴールイン。

●**エピソード**……とはいえ、サラリーマン家庭に育った悦子さんにとっては、バイク販売店という180度異なった環境の中で新しいかど出。すべてに新婚ホヤホヤの浮き足立った気分ではありません。

「まだやっと2週間、どうにか保険の書き換えができるようになりました。あとはバイクをみがぐらいが精一杯です」という毎日。

それでも「どこへ動いても3カ月は試用期間、いまからバリバリやられてはこっちの出る幕がないよ」とやさしいご主人。

「若い人がお店にいて、雰囲気ガラリと変わる。最初は気苦労も多いだろうけどガンバッてほしい」という義父さん(仙吉社長さん)

「私も最初は、お客さまの名前も覚えられず、バイクの名前、部品の名称もわからなかったもの。でも楽しみ、苦しみいろいろと覚えていくものです」という義母さん(トヨさん)

家族のみなさんの暖かいバックアップに支えられてスタートは順調。悦子さんご自身も「ソフトバイクの女性が多いので、商売にも女性ならではの力を発揮していきたいものです。ともかく普通のサラリーマンに嫁いで家を守るだけよりも、主人を助けて一緒に働ける。それだけでもとても幸せです」と、ヤマハ奥さまという新しい「仕事」に大きな意気込みを燃やされているのです。

このコーナーでは、さまざまなかたちでお店のご商売に活躍されているヤマハ奥さまの登場をお待ちしております。自薦、他薦は問いませんが、どうぞふるってご登場ください。  
宛先は、〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機㈱ 広報部PR課「ヤマハニュース」係 ☎05383(2)ー111内線356ー お手紙で、お電話でどうぞ。

お店のセフティリーダー育成にお役立てください!

## ヤマハ ライディング スクール(YRS)

地域安全活動のリーダーとなるロードマスターの育成をめざす「ヤマハ ライディング スクール」(YRS)が、今年も5月から10月まで、月1回の予定で開催されます。

「ヤマハスポーツ250cc新時代」もスタートし、スポーツバイクのお客さまの動きもひとときわ活発なまこ、お店のオピニオンリーダー、スポーツリーダーのお客さまを中心に、どうぞ積極的なご参加をおすすめください。



### ●幅広い人びとの反響呼ぶ「YRS」

ヤマハ安全運転推進本部の主催、スポーツランドSUGOの共催によって昨年の6月からスタートした「ヤマハ ライディング スクール」は、昨年度4回にわたって開催され、参加者の好評を博してきました。

これらの人々の内訳を見ると、東北・関東を中心に遠く北海道や九州からの参加も見られ、また年代別でも20代の61%を筆頭に、30代24%、10代11%、40代4%。さらに職業構成でも、会社員24%、販売店さま関係者23%、自営業18%、大学生14%、教習所指導員8%、公務員4%、安全運転指導員3%、高校生2%……その他新聞記者、大学講師——と年齢別でも、職業をみてもきわめて幅広い人びとに大きな反響を呼んだものです。

### ●めぐまれた施設で充実した2日間の講習

こうした大きな反響の要因は、「ヤマハ ライディング スクール」の充実した内容。スポーツランドSUGOの理想的な施設の中で2日間にわたりみっちり、二輪車に関する正しい知識と技術、そしてマナーを修得できる絶好の機会、だということです。

カリキュラムも安全運転課題走行から、ロードコースを使用しての中高速バランス

走行、SUGOハイランドのモトクロスコースにおける不整地走行などの実技講習をはじめ、安全運転理論まで、充実した幅広い内容が網らされています。

また、指導に当たるインストラクター陣も、ヤマハのベテランインストラクター。「厳しい講習の中にも、モータースポーツの楽しさを存分にもり込んで、技術向上に大きな効果を上げた」と卒業生みなさまの好評を集めています。

### ●5月から10月まで毎月1回開催!

そして、今年2年目を迎えた「ヤマハ ライディング スクール」は、昨年度の実績のもとに一段と内容を充実、右記スケジュールのもとに、5月から10月まで毎月1回のペースで開催されます。

▶受講資格は、中型限定二輪車免許または大型二輪免許をお持ちの方で、セフティリーダーにふさわしい能力の修得を希望される方。

▶会費は、受講料、宿泊費、食費(2泊6日)を含め2万円。(往復の交通費は含まれません)

### ●「YRS」でお店のリーダーづくりを!

受講資格にも銘記されているように、この「ヤマハ ライディング スクール」は、単に二輪車の安全運転技術の向上を目的と

したものではありません。

二輪車に関する正しい知識、運転技術、マナーをしっかりとわきまえ、それを実践することによって地域安全活動のリーダーとなる人びとの育成をめざしています。

それだけに、地域のリーダーづくり、お店のリーダーづくりの絶好の機会としてみなさまのお店のツーリングクラブ等のリーダーの方がた、またスポーツバイクユーザーのオピニオンリーダーの方がたにこそ、特にご参加いただきたいものです。

そして、「ヤマハスポーツ250cc新時代」もスタートし、例年にもまして活発化するスポーツバイクのご商売の中で、これらリーダーを中心としたお店単位の安全活動をどうぞ積極的にご展開ください。

このために、いまヤマハ安全運転推進本部では、「ヤマハ ライディング スクール」開催告知ポスター、参加申込み書を兼ねた案内パンフレット等、多彩なツール類もご用意しました。

どうぞ、これらツール類をご活用の一入でも多くの方がたに「ヤマハ ライディング スクール」へのご参加をおすすめください。

※なお、詳細は担当のヤマハセールスマンにお問合わせください。

### '80年度開催スケジュール

▶ 5月19日(月)～20日(火)

▶ 6月23日(月)～24日(火)

▶ 7月21日(月)～22日(火)

▶ 8月11日(月)～12日(火)

▶ 9月 8日(月)～ 9日(火)

▶ 10月 6日(月)～ 7日(火)

※集合は前日の午後5時。解散は最終日の午後2時の予定です。

▶申込み——スポーツランドSUGOスポーツ課 YRS係  
〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生  
☎022483-3111

●吉川雅之



●お店づくり ●顧客づくり ●利益づくり

前2回にわたりお客さまとの上手な会話のすすめ方をとりあげましたが、今月はその最終回。商談成立を目の前にお客さまからとび出してくださるさまざまな注文や迷い、さあみなさまならどう対応しますか？

## ●筆者紹介

吉川雅之(昭和14年生)産業能率大学経営管理研究所研究員/産業能率短期大学専任講師(販売促進)著書に「新しい販売促進」(共著・酒井書店)「得意先についての知識」等がある。趣味はバイク。DT125、TY125等数台を所有、ユーザーとして販売店さまのおつきあいも。「今の楽しみはRZ250の発売!」というアダルトユーザーの1人。

## 上手な会話のすすめ方

その三

## 議論に勝っても、商売は失敗

お客さまとの会話は、いつも終始なごやかに、スムーズにいくとは限りません。時として意見が対立したり、無理な要求をされたりして苦勞する場面も多いものです。

また、一般に「販売抵抗」といわれるものがあり、お客さまへの商品説明も一応終り、いよいよ購入決定という段になって、いろいろと反対理由を挙げて購入を中止しようとして、迷ったりされることもあります。

こんな時には「ああ、そうですか」と簡単に引き下がるわけにはいきません。特に反対の理由がお客さまの誤解によるような場合は、言うべきことは、はっきりと行って誤解を解くべきです。もちろん、その言い方が問題。



こちらが正しければ、それをお客さまにダイレクトに伝え、お客さまは誤りに気づいて万事OK、というものではないからです。

お客さまと議論をして、こちらが正しく、結果として議論に勝つことはできても、それでお客さまの感情を害してしまい、イヤな気分させてしまつては逆効果です。議論に勝つて商売は失敗——そんなことのないように今月は、より具体的な上手な会話のすすめ方を考えてみました。値引きなど、無理な要求を突きつけられた!

こんな場合の第一の基本は、お客さまとお店とは基本的には協力関係にあるのだ、ということを判かっていたらいいことです。

お客さまが得をするか、販売店が儲かるかふたつにひとつ、というような姿勢からは決してよい結果は生まれません。

お店は商品を売りたいし、お客さまとしても良いものを買いたいのです。商談(お客さまとの話し合い)は、どちらかが勝つて、どちらかが負ける、という綱引き合戦の場所ではなく、お客さまのより高い満足を得るために、お店とお客さまが協力してその方法を考える機会だといえます。もう少し具体的に考

えてみましょう。

例えば値引きの交渉を受けたとします。「もっと安くしてくれたら買うよ」という場合、お店としては当然断らざるを得ないでしょう。値引きはお店が損を覚悟で決心さえすれば、決して出来ないことではないような気がしますが、しかし、ある特定のお客さまにだけ安くすることは他の通常の価格で買っただけ安かったお客さまに対して不公平な扱いをしたことになり、大変に失礼なことではあります。それは全員に安く売つたらどうなのか、そんなこと出来る訳がありませんね。そんなことをしたらお店の経営に支障を来だし、ひいてはお店を信頼し、頼つて来ていた大勢のお客さまに対して大変に迷惑をかけてしまうことになるのです。

したがって、値引きをしないのは、お店が儲けようとしてガンバッツて価格を下げないのではなく、出来ないことだからなのです。そこで、値引きが出来ないということをはっきりとお客さまに言います。そして「お客さまの期待に応えられなくて自分も大変に残念である」ということも伝えます。

この場合には、お客さまと一緒に残念がることになりません。悪いのは、価格を下げるのが出来ないことであつて、決してお店のご





主人ではないのです。

その上で、他に方法がないかをお客さまと一緒に考えてみましょう。もちろん、この場合、お客さまが欲しているバイクが十分に価格以上の価値を持っていることもお客さまに知らせてあげましょう。(価格と価値・1月号本欄参照)

このように、お客さまと一緒に残念がることによつて、そこからいろいろなアイデアや共感も生まれてきます。例えばクレジットなどの支払い方法、もう少し安い車種への移行など、もう一度お客さまと話し合う態度が生まれます。

その結果、良い方法が見つければお客さまとお店が一緒になって喜ぶことも出来るのです。失敗して、その結果お客さまは買わなかったにしても、お互いに一緒に残念がり、協力していろいろなアイデアを考えた仲間なので、結果は同じ商談の不成立でも「まけてくれ」「いや、まけられない」では感情的なシコリが残る。「あの店はケチだ」などと言われかねません。一緒に残念がり、一緒にいろいろな方法を考えてくれた仲間となれば、お客さまの心の中には、きつといいイメージが残る。「今日はダメでも、また今度来よう」という気持ちが残ることでしょう。

**お客さまが、購入の反対理由をならべ出した!**  
いざ決定の段になって、お客さまはいろいろな反対理由を並べ出すことがよくあります。「私に乗りこなせますか? 安全かどうか心配だな」「車体がどうも重そうね。もつと軽い方がいいのかしら……」

「パワーがなさそうだなア」「こんな時、まあまあ、そうおっしゃらずに……」などとあわてて抑えにかかっても決して効果がないばかりか、お客さまはさらに強くそのことにこだわり、逆効果になってしまうのです。まず、大切なことは前々回にも書いたように、よく聴いてあげること。お客さまには「……心配なわけではない」「大丈夫ですよ」と言っても

らって確認したいだけの時がよくあります。こんな時には「大丈夫ですよ、なぜなら……」と確信を持って具体的に説明してあげること、お客さまは安心するので。

もしお客さまが、単なる確認ではなく本気で心配し、購入をちゅうちょしているのであれば、お客さまの理由が何であるかを正確につかみ、「こういうことですね」とくり返して確認した上で、こちらの考えを述べます。

お客さまは、しばしば製品に対する不満点を上げて反対の理由とします。しかし、その不満も、なぜそうなっているのかという理由を考えるとかえってメリットになるものが少なくありません。例えば――

パワーが少ない↑↓扱いやすい  
車輪が小さい↑↓重心が低く、安定性がある↑↑足つき性も良い  
こんなことは、バイクのプロである販売店みなさまがお考えになれば、即おわかりのことでしょう。

そこで、製品に対する不満を指摘された時には、何故そうなっているのかを考え、そのメリットを強調することによつて、それが逆に強力なセールス・ポイントにもなるのです。「おっしゃるとおりです、だからこのバイクはこんな特徴があるので」という説明。バイクについてのプロとしての販売店みなさまの商品知識が多いに活かされるところです。

**最後の購入決定を迷っている!**  
購入を決定する、ということはお客さまにとつても、大変にコワイことです。もし、ここで決定してしまえば、お金を払わなければならない、なにがしかの犠牲を強いられることになるでしょう。

また、ここで決定して、それが間違っていたとしても、そう簡単に訂正できるものではありません。

そんな時、お客さまの心の中には、新しいバイクを欲しいという気持と「イヤちょっと待てよ」という気持とがうずを巻いています。こんな時にお店のご主人がそばから「買うのか、買わないのか、はつきりしてくださいよ」などと言おうものなら、買うという危険を冒すより「考えてみます」という言葉で購入を遅らせるか、あるいは断ってしまうことが多量のものなのです。

そこで、焦りは禁物。ジックリと腰をすえると同時に、お客さまが最後の決定をしやすいうように援助してあげることが大切です。そのための方法として、3つの手法をご紹介します。おきましょう。

### ●累積的締結法

これは、これまで話してきた購入のメリットやセールスポイントなどをもう一度くり返して話し、ひとつひとつ確認をとっていきま。そして、結果として購入の意志決定をさせるように持つていくのです。

やや時間はかかるかも知れませんが、本当に迷って混乱しているお客さまに対しては、決定に導く親切な方法です。

### ●結果指摘法

さらに「今だったら○○方面へのツーリングが楽しいですよ」といったように、買った後の楽しさを具体的に表現してあげること、効果的なものです。

### ●択一法

「カラーは赤とブルー、どちらにしましょうか?」「左側のバックミラーもつけますか?」「クレジットは何回払いがいい、3回? 6回ですか?」などのように相手が答えやすい質問をして買うことを決めてしまう方法です。したがって、この場合には、「オプションは何をつけますか?」という抽象的な質問より「パケットはつけますか?」という簡単な質問の方が良いでしょう。

ある有名な経営学者は「お客さまにいかに協力し、喜んでもらうかが経営の目的である。売上げや利益は、お客さまにいかに関与したか、ということのひとつのパロメーターなのだ」と言っています。

みなさまのお店も、本当にお客さまの役に立つ協力者になっていただきたいものです。(つづく)

全日本選手権モトクロスシリーズ

藤、東福寺、竹沢そろって1勝  
ヤマハ勢序盤戦をリード!

3月22日、冷雨と粉雪の舞い散る茨城県谷田部で80年全日本選手権モトクロスシリーズがスタートした。波乱のシリーズ戦を思わせる最悪のコンディションでの開幕。続く4月

5日、6日の第2戦山口モトクロスも雨で、大波乱の序盤戦がつづいている。しかし、こうした中でも藤秀信、東福寺保雄、竹沢正治のヤマハラライダーは元氣一杯。



1戦、2戦での群を抜く速さが驚異の目を集めている東福寺。ケガさえなければ、チャンピオン候補の最右翼だ(第1戦)



今年のゼッケン②から「来年は絶対①!」を狙う藤も第2戦125ccで待望の1勝目



大ベテラン竹沢も元氣一杯。最悪のコンディションで堂々の1勝目をマーク(第1戦)

エース光安鉄美の世界GP挑戦の後をうけてそれぞれ1勝(総合)をマーク、着実に序盤戦をリードしはじめている。

東福寺、群を抜く速さで圧勝(第1戦)

今シーズンの第1レースは、第1戦の国際A級125cc・第1ヒート。3月22日、泥沼と化した谷田部でのスタート。

注目のこのレースでニュー「YZM125」を駆る東福寺が、早ばやと他を全く寄せつけぬ走りを見せて圧勝。「80年は東福寺!」の声が早くもとびかかったほどだ。2位藤、3位吉原朋正(YZ125)、5位竹沢、オープニングレースからヤマハラライダーの上位独占である。しかし、続く第2ヒートでは、またも独走

を開始した東福寺が中盤惜しくもトラブルでリタイア。かわって大ベテラン竹沢正治が1位となり、総合優勝をチームメイト東福寺からさらってしまった。

翌23日に行なわれた、国際A級250ccクラスでも東福寺と「YZM250」の快走がつづき、大観衆の驚異の目を集めながらみるみる2ヒート制覇の完全優勝を達成してしまった。2クラス、4ヒートのうち3優勝を果した東福寺。リタイアのヒートも、ぶっち切りのトップにいたわけて、結局この日は誰れ一人として東福寺の前を走ることはい出来なかったわけだ。

藤も着実に1勝目

(第2戦・125cc)

谷田部から2週間後の4月5日、山口県美弥市の西日本サーキットに舞台を移して第2戦が行なわれた。この日の国際A級125ccクラスでは、第1戦の話題を東福寺と竹沢の2人にさらわれてしまった藤がガ然ハッスル両ヒートを着実に走って、今季初の総合優勝をなした。

注目の東福寺は、この日も健闘。特に第2ヒートではスタートで出遅れたものの、着実に上位進出を果して後半ついにトップにおどりと出たのだ。しかしラスト1周の最終コーナーで周遅れライダーを抜く際に接触転倒、目前の1勝を逃してしまった。

また、翌6日、朝から降りつづく雨の中で行なわれた国際A級250ccクラスでは、第1ヒート藤が安定した走りをみせて優勝。しかし第2ヒートのスタートミスがたつた、総合3位に終わってしまった。なお、このクラス東福寺は不出場。

こうしてシリーズ2戦目にしてヤマハラライダーは各1勝。「久しぶりにケガもない年、ベストコンディションでチャンピオンをめざす」という2月にババになったばかりの東福寺。「チームメイト光安の欠場分はまかせておけ、今年もチャンピオンはヤマハで」とはりきる藤。そして竹沢も「まもなく販売店をオープン。レースに商売に今年はフル挑戦です」と目を輝やかす。ヤマハYZMトリオは今シーズンもまた、シリーズ戦の話題をつぎつぎと生み出している。

## 世界選手権モトクロスGPシリーズ

### 光安、世界GP2戦目で堂々の3位入賞!

125ccシリーズ



第1戦の不振を吹きとばして2戦目から日本チャンピオンの実力を示し始めた光安(写真は第1戦オランダGP)

一新したライダー陣容で500cc級と125cc級への挑戦を開始したヤマハワークスの動向が注目を集める'80年世界選手権モトクロスGPシリーズ。

中でも125ccシリーズは、ヤマハのとうりよりも、日本のエース光安鉄美のフル挑戦で国内の関心もひととき大きくふくらんでいる。

注目のシリーズ第1戦は、3月30日のオランダGP。ベルギーのホープ、マーク・バルケニヤスと光安のYZMコンビの初登場だ。しかし、世界GP初出場の光安は、本領発揮には至らず上位進出は果せずに終わってしまった。一方のバルケニヤスは、さすがに地元。第1ヒートからチャンピオン・エバーツ(スズキ)・79年YZM125のD・ザイトラと3車一団となつてのトップ争いを展開。結局、終盤のトラブルでリタイヤしてしまったが、大器の片鱗をはっきりと見せつけたものだ。このヒート、1位エバーツ、2位ザイトラ。

しかし、第2ヒートではバルケニヤスがスタートから快調にトップ進出。そのままス

ート・ツー・フィニッシュの快走で今季1勝目を上げた。

第2戦は、4月13日のオーストリアGP。第1戦で見る影もなかった光安も、いよいよ本来の「キレ」を見せはじめ、第1ヒートは4位、第2ヒートではバルケニヤスにつづいて着実に3位入賞を果し、しっかりとランキング争いの一角に加わり始めてきた。

また、バルケニヤスは第2戦、両ヒートとも2位。本来の調子を取りもどしつつある若いヤマハコンビの活躍に、ヨーロッパでも大きな期待が寄せられている。

### H・カルキビスト3位

500ccシリーズ

一方、250ccワールドチャンピオン、H・カルキビストとYZM465でタイトル奪還へ始動した500ccシリーズ。

第1戦は、4月13日のスイスGP。このレースでカルキビストは両ヒートとも3位入賞。ポイント20点を上げて、まずまずのスタートぶりを示している。

最も多くの参加台数を集めたのはノービス125ccクラスの39台。ロードレースの根づよい人気のほどをうかがわせている。

「TZ500」のデビューが注目された国際A級350cc/750ccクラスには21台が出場。このうち「TZ500」は6台が顔をそろえた。「TZ500」の開発に当たった金谷秀夫、高井幾次郎のヤマハワークス・ライダーも「TZ500」での出場である。気圧の谷の通過で天候がめまぐるしく変わる中、注目の決勝レースのスタート。

ポールポジションは、「TZ500」の高井、「TZ750」の水谷勝、「TZ500」の木下恵二の3人が一列目からのスタート。レースは高井のリードで進行し、木下、金谷と3台の「TZ500」が先頭集団を形成し、はなばなしく「TZ500」のデビューを観衆の前に披露したものであった。

中盤、高井がトラブルで戦列を離れ、やがて水谷もリタイヤすると金谷、木下、毛利良一(TZ750)の3台がデッドヒートを展開して会場を沸かせたが、28周目、残り3周で木下が猛然とダッシュ。追撃する毛利、金谷をふり切つて堂々の総合優勝を達成した。

2位毛利、3位金谷。

つめかいた熱心なファンやライダー達の間、にその強烈なパフォーマンスをまざまざと見せつけた「TZ500」。この期待のニューマシンの登場は、5月と10月に予定されている

### 総合優勝!

### 木下、高井/金谷を押えて

## 木下恵二優勝! TZ500デビューレース飾る

全日本選手権第3戦・菅生ロードレース



レースも残り2周、猛追撃をみせる金谷(後)、ゴールめがしての必死の逃げ切りをめざす木下(前)。「TZ500」のパワフルな走りが、第3戦の話題を独占してしまった。

「SUGOビッグロードレース」をはじめ、今シーズンの国内ロードレースへの興味を大いにあげているところだ。

### 5月のレーシングカレンダー

5月4日	500cc級モトクロス③	フラン
5月11日	世界選手権ロードレース②	イタリアGP
5月18日	250cc級モトクロス②	チェコGP
5月25日	500cc級モトクロス④	スウェーデンGP
5月25日	全日本モトクロス④	鈴鹿
5月25日	世界選手権ロードレース②	スペインGP
5月25日	250cc級モトクロス⑤	ユーゴスラビアGP
5月25日	250cc級モトクロス③	西ドイツGP
5月25日	500cc級モトクロス⑤	フィンランドGP
5月25日	全日本ロードレース⑤	筑波
5月25日	全日本モトクロス⑤	丸亀
5月25日	世界選手権ロードレース⑤	フランスGP



## 第9回モーターサイクルショー 人気のマト・ヤマハコーナー



3月28日から30日までの3日間、東京・文京区の後楽園・展示会場において第9回モーターサイクルショー（主催・モーターサイクルショー実行委員会）が開かれました。

春休みの恒例行事として、熱心なバイクファンには完全に定着したこのショー。今回も連日多くのファンが詰めかけ一時は入場制限を行なうほどの盛況ぶりです。

内外のクラシックバイク、カスタムバイクなども展示されていましたが、ここでも人気のマトはヤマハコーナー。連日ごらんの通りの黒山の人だかりがつづいて、昨年の「東京モーターショー」の再現。

本格的なバイクシーンを迎え、「ヤマハ250ccスポーツシリーズ」に対する人びとの期待が、最高潮に達していることを物語る、モーターサイクルショーの3日間でした。

## Yamaha Topics

ヤマハニュースは販売店みなさまの情報誌です。



お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。

ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報部PR課  
「ヤマハニュース」係  
☎05383(2)1111 内線356

## 東京国際ボートショーひらかる 海のヤマハとともに 「タウンイ」に人気

3月19日から23日までの5日間、東京晴海の国際貿易センターにおいて第19回東京国際ボートショーが開催されました。

お客さまの話題は、海のヤマハ、東館メインコーナーにボート、ヨット、船外機、ディーゼルエンジン、マリナー用品・用品……を一大展示して来場者の注目を一身に集めたものです。

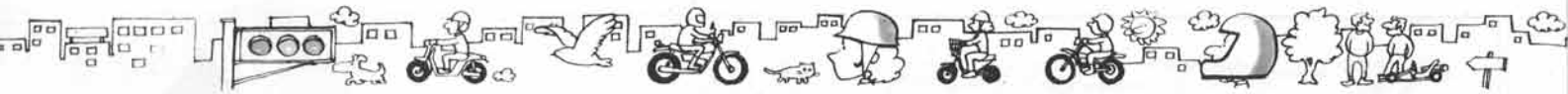


ご自慢のフルフェイス・ヘルメットを手に「GX250SP」と国貞さん（久保井モータースさんで）

## 奥さまは、 クォーターバイクライダー！

〔ヤマハ広島（株）広島営業所〕 スポーツバイクを楽しむ人びとの年代層や楽しみ方が、急速に広がっている昨今ですが、ここ広島市では「GX250SP」を駆ってさっそうと走りまわるママさんライダーが、街の人びとの話題を呼んでいます。

話題の主は国貞依子さん（27才）。1児の母親でもある国貞さんは、昨年の4月に中型免許を取得、11月に念願の「GX250SP」のオーナーとなられた方。「結婚して5年目、とにかく今のうちにやりたいことをどんどん積極的にやっておきたかったのです。いまはもう「GX」に夢中！ 竹原市の実家までこれでよく帰るのですが、片道約40キロのツーリングは、とてもそう快。バイクの楽しさを心ゆくまで満喫しています」と「GX250SP」の走行距離もグングンと上がり、久保井モータース（久保井輝光社長）さんへの来店回数もめっきりと増えている昨今です。



## お車の点検・部品交換に関するお願い

ヤマハでは日頃から製品の品質向上につとめておりますが、このたび下記該当車両について「燃料コックの一部に加工不良のものがあり、このままの状態で使用を続けると、万一の場合燃料コックからガソリン漏れをおこすおそれがある」ことが判明いたしました。

55年7月を目標に、全対象車両について対策部品との交換（対策済車にはステッカー貼付）を実施いたします。販売店みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

### 対象車

通称名	型式	対象車台番号	製作期間
ヤマハスポーツ XS750スペシャル	I J 7	400901~440500	昭和53年2月3日~昭和54年3月17日
ヤマハスポーツ XS650スペシャル	4 4 7	901301~906050	昭和53年2月4日~昭和54年3月15日
ヤマハスポーツ GX400 ヤマハスポーツ GX400SP	2 L 0	051201~301750	昭和53年2月21日~昭和54年4月19日
ヤマハスポーツ GX250 ヤマハスポーツ GX250SP	2 U 3	000101~302200	昭和53年3月17日~昭和54年4月27日

※上記対象車台番号範囲の車両でも、一部対象外の車もあります。



## 91名の特別指導員、指導員に 安全協会より表彰状

財団法人・全日本交通安全協会と二輪車安全運転推進委員会は、4月2日、東京・千代田区の半蔵門会館において、優良二輪車安全運転特別指導員と指導員の表彰式を行いました。

この日表彰を受けたのは、全国各地で長年二輪車の指導に当たっている91名の特別指導員と指導員の方だ。

また、表彰式にひきつづき長野、愛知、京都、奈良の各府県代表者による意見発表、記念講演、「原付を安全に乗るには」の映画上映も行われ、きわめて有意義な一日を過ごされたものです。

塩の香りいっぱいヤマハコーナーでは、ヤマハ最大級のサロンクルーザー「SC-1200」や、いまヨットマンの話題をさらっているクルージングケッチ「Y-34CK」に

長蛇の列がつづいていましたが、こうした大型ヨット、ボートにまじって男のソフトバイク「タウニイ」も展示され、海の男たちの話題を呼んでいました。



## 業界通信

### 男性向けファミリーバイク

「タウニイ」の登場で、ファミリー市場に新たな活気が

中年マツサカリのジャズメン渡辺貞夫が、グッと親指を突出して、「ポクのバイク」——男性向けファミリーバイクとして、3月1日ヤマハから新発売された「タウニイ」のコーナーシャルだ。もともと、バイクは男のもの……なんていう理屈はこの際差し控えるとして、どうやらこれはファミリーバイク交際の年になりそうだ。

女性だけにねらいを置いてきたこれまでの普及期から一変して、これは多様化、個性化の時代へ。例えばスクータータイプなどまったく新しいスタイルのバイクも続々誕生しそう。これに伴って販売面でも、昨年の一服状態を脱し、ことし（12月）は過去最高だった53年実績（103万8千700台）を上回ることは確実。それどころか「120130万台も可能」との声を聞かれるほどだ。

〔日刊自動車新聞 4月1日付〕

### 難しい大型二輪免許、それでも54年は過去最高の6千194人がやとと取得

警察庁がこのほどまとめた資料によると、54年中の大型二輪運転免許合格者数（全二輪運転資格）は、新規・限定解除審査を含めて6千194人を数えた。

すなわち、学科試験合格者を対象とした新規の技能試験合格者は490人、加えて小型および中型限定二輪免許所持者を対象とした限定解除審査で5千704人が合格したことになる。

この1年間で6千人にのぼった総合格者は、53年に比較し1千908

人44・5%増となるとともに、一昨年比で約80%の伸びとなり、根強い大排気量指向がうかがわれる。

また、新規および限定解除審査の合格率は、いずれも7・6%。双方とも51年以降の過去最高を記録しており、わが国のナナハン免許という取らせない主義が存在する中で、7・6%にこぎつけたことは、強くけなげさ。うかがわせるものだ。

〔二輪車新聞 3月21日付〕

### 全部連が一般市販されている改造マフラーを騒音テスト。加快速行騒音で落第

全国自動車部品小売商団体連合会（全部連、大川進会長）は、先に実施した二輪車用マフラーの試買試験について、その騒音結果を公表した。

騒音試験は、曙ブレーキ工業・岩槻製造所の村田テストコースを借りて行なわれ、第3者検査機関に日本車両検査協会が実施にあたった。暴走族に絡んで、二輪車の騒音公害が社会的に問題視されていることから、全部連では一般市販されている二輪車用マフラー（消音器）をその試買試験事業の調査対象にとりあげた。

試験品は、東京・上野の用品ショップでランダムに選んだ二種で、既取付け品の純正部品と騒音比較を行なったもの。

騒音規制は、定常走行騒音と排気騒音、加快速行騒音の3項目が保安基準で定められている。51年規制では定常、排気が74ホン、加速が83ホンをそれぞれ許容限度としている。

試験データの結果——一番問題となる加快速行騒音試験では、試料Aは基準内ギリギリの82ホンだったが、試料Bは大幅に基準をこえ、93ホン。純正品は81ホンと基準内となった。

〔日刊自動車新聞 3月22日付〕

まごころ点検

# 定着させよう定期点検

お店単位のさまざまな安全運転推進活動とあわせて、お客さまの安全を守るもうひとつの柱は、愛車がつねに正しく整備された状態にあること、つまり定期点検の励行です。このためにヤマハでは、販売店みなさまと一体となってさまざまな安全点検キャンペーンを実施してきましたが、より強力な「定期点検の定着化」をめざして、この3月より充実した定期点検促進ツールをそろえ、販売店みなさまの定期点検サービスパックアップさせていただいております。

どうぞ、これらツールを存分にご活用の上、お店の定期点検の定着化をおすすめください。

## ●「らくらく点検」は定期点検

お客さまにとって、定期点検を一層身近かで親しみやすいものとするために「ヤマハらくらく点検」の名称で統一いたしました。

## ●「らくらく点検」は

お客さまの利益をめざします

「らくらく点検」の第一の目的は、もちろんお客さまの安全を守ること。お客さまの愛車を一定期間ごとに、きちんと点検・整備することによって本来の機能を保持し、不調や故障の発生を未然に防止するものです。

「らくらく点検」をきちんと受け、それによって得られる快適なバイクライフと安心感。逆に整備不良車による故障や事故の発生とそれにともなう無駄な出費や精神的な負担——お客さまにとって安全を優先確保するために定期点検は必要不可欠なことであり、そのままお客さま自身の利益につながることを、この機会にしっかりとアピールしたいものです。

## ●「らくらく点検」は

お店の利益をめざします

一方、地域の信頼を集めるお店づくりが、

販売店さまの繁栄にとって欠かすことのできない条件となっている80年代。このことから「らくらく点検」の定着は、お店にとってますます重要性を高めているといえます。

- 安定したサービス収益の確保
- パーツ、用品、関連商品の拡販
- 代替の動機づけの最大のチャンス

といった、具体的な利益ばかりでなく「らくらく点検」の定着によって生まれるお客さまのお店に対する「信頼感」。これこそお店の利益と、将来的な発展の基盤づくりのために絶対に不可欠のもの。「らくらく点検」は、強力なパワーを秘めたお店の「需要創造」活動なのです。

## ●80年代商戦を勝ち抜く技術力のあるお店

お客さまの信頼を集めるお店

80年代は、お客さまの商品やサービスに対する選択が日毎に厳しさを増す時代、安全性

や耐久性に対する意識が敏感になっている時代、そして厳しい競争の時代です。

こうした中で、お客さまは「お店を選ぶ」姿勢がよりつよくなっています。お客さまに選ばれるお店として、安全性と性能保持を保証してくれる整備力、技術力に裏づけられた信頼度の高さが大きなキメ手となっています。

このような時代背景をもふまえて「お客さまの生活向上に貢献する」という原点に立ち返り、一層の定着を計ろうというのがこの「らくらく点検」なのです。

この「らくらく点検」促進ツールとして、

- らくらく点検実施マニュアル
- らくらく点検工賃ボード
- らくらく点検ハガキ

を用意しました。どうぞこれらツールをフルに活用の上、お店での定着化をご推進ください。

※なお、詳細は担当セールスマンまたは営業技術員にお問合わせください。

### ●らくらく点検工賃ボード

製品No.061406



サービス工場や店内にはっきりと掲示して、定期点検料金の明確化を。

### ●らくらく点検実施マニュアル

製品No.061405



のバ、具体運料点、を  
点、具、点、を  
検、具、点、を  
実、具、点、を  
践、具、点、を  
的、具、点、を  
な、具、点、を  
法、具、点、を  
ま、具、点、を  
ま、具、点、を  
サ、具、点、を  
サ、具、点、を  
す、具、点、を  
す、具、点、を

### ●らくらく点検ハガキ



ヤングユーザー向け  
製品No.061409

### ●ソフトバイクユーザー向け

製品No.061407



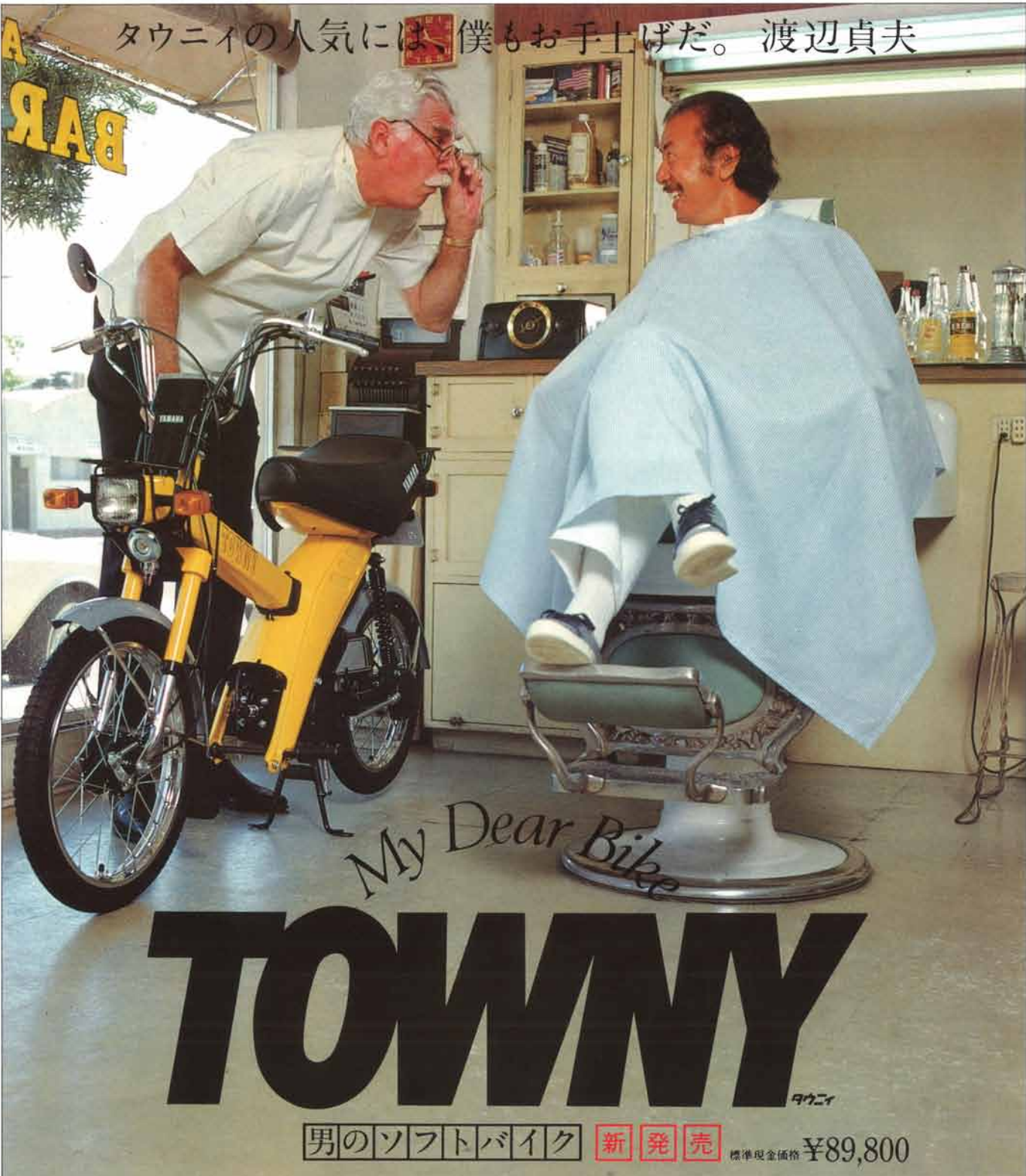
スポーツ・業務用ユーザー向け  
製品No.061408



※シリーズでとりあげている「点検サービス時のお客さま心理」は休載させていただきます。



タウニイの人気には、僕もお手上げだ。渡辺貞夫



My Dear Bike

# TOWNY

男のソフトバイク **新発売** 標準現金価格 ¥89,800

私の好きなミュージシャンという某女性誌のアンケートでベスト10入りした渡辺さん。その理由にジャズを身近にしてくれた人とありました。素晴らしいですね。タウニイの人気も、バイクを身近にしてくれたから、であればこんな嬉しいことはありません。渡辺さんもそうだけれど、タウニイは優しい、運転もやさしい。さあ、街をスイングしてみませんか。タウニイを知り、バイクの愉しさを知った渡辺さんのように、あなたもバイクのファンになりますよ。

## YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社  
〒438 静岡県磐田市新貝2500  
TEL.05383(2)1111

●全長1,600mm ●全高1,050mm ●重量50kg ●2サイクル49ccオートマチック2段変速 ●最高出力2.8ps/6,000r.p.m ●燃費75km/l(30km/h定地走行テスト値) ●50ccバイクは普通免許でも乗れます ●ヘルメットをかぶり、安全運転を ●定期点検も忘れず

### 広告活動ご紹介

タウニイの人気には、僕もお手上げだ。渡辺貞夫——これは5月発売の週刊誌、男性誌に掲載する『タウニイ』広告の第3弾。活発なテレビCMと相まって「ナベサダのタウニイ」は、いま幅広い男性層に急テンポで浸透中です。春の商戦も最盛期、どうぞこの効果をみなさまのご商売にお役立てください。